

power SAMPLE

■ 沖縄新聞

資料提供；

沖縄県、**盛龍也**

9月21-23日、茨城県つくば市で国体が開催されます。全国のブロックで、選考会が開催され、続々と代表選手が決まっているようです。九州地区で開催された国体代表選考会の結果が、沖縄新聞に大きく報道されました。

いつも、沖縄情報をお送りくださる盛さんは、このたび、定年になられたとのことで、ふるさとの辺野古に帰られたそうです。何とか、練習が続けられるようにと、自宅にジムを作りたいと奮闘しておられるとお聞きしました。柔道でもご活躍の盛さん、新しい一歩を踏み出されたようですが、これからも、是非、沖縄の情報をお送りいただけたら、ありがたいです。

国体が華やかに開催されるそのあとには、9/26-27、パラ・パワーリフティングのテストイベントが控えています。応援をお願いしたいところですが、この大会は、東京2020組織委員会がテストしたいところだけをテストする、と言う大会で、残念ながら観客ゼロです。選手の記録は、世界ランキングにも、東京パラリンピックランキング（ただし、パラリンピック参加標準を突破した場合のみ）にも公認されますが、寂しい大会となりそうです。

国体とテストイベント、選手の皆様のご活躍をお待ち申し上げます。（編集部、吉田寿子）

国体団体で「日本一」
パワリフ 県代表ら 日本記録も狙う

パワリフティングの第4回全九州選手権・第74回宮城善83級の合田隆宏、茨城国体九州ブロック代表93級の池田翔一らが1選手選考会鹿児島県・おきえらぶ文化ホール、6月29日、琉球新報社を訪れ、国体への意欲などを語った。九州では狙っていた日本



茨城国体に出場する（前列左から）宮城善、合田隆宏、池田翔一と、九州大会で上位に入った（後列左から）富間聡、儀間洋哉、知名江里香。1日、那覇市の琉球新報社

記録が出せなかったことを悔やむ宮城は「国体では記録を出して優勝し、団体でも日本一を取りたい」と意欲満々。九州でトータルの自己ベストを更新し、波に乗る合田は「さらに記録を更新して、チームをサポートできるようにしたい」と力を込めた。

トータルの自己ベストが692・5kgの池田は「700kgを最低ラインに位置付け、優勝したい」と高みを見据える。国体には九州の74級で優勝したスクワットの世界記録保持者、比嘉善浩も出場し、県勢として団体初優勝を目指す。パワリフティングは国体の公開競技として実施され、茨城大会ではつくば市のつくばカピオで9月21〜23日に行う。

全九州選手権では女子52級の知名江里香が、男子83級サブジュニア（14〜18歳）で富間聡が優勝。男子59級で儀間洋哉が3位に入った。